

財政局財務部財政課
TEL 093(582)2002

令和4年度6月補正予算案

財 政 局

令和4年度6月補正予算案

I 規模

一般会計	91億4,790万円
特別会計	11億5,800万円
総額	103億590万円

※別に債務負担行為 13億2,640万円を設定

II 補正予算案の概要

1 一般会計補正予算案 91億4,790万円

(1) 新型コロナウイルス感染症に対応する本市の支援策 79億4,990万円

①国の総合緊急対策に基づく支援

ア 給食食材価格高騰対応事業 5億2,910万円

コロナ禍における物価高騰に対する子育て世帯の支援として、市立学校（小学校・中学校・特別支援学校）及び保育所等（認定こども園・認可外保育施設を含む）の給食費の物価高騰分に相当する費用を補助する経費。

イ 公共施設へのおでかけ応援事業 2億5,460万円

コロナ禍における物価高騰に直面する市民をレジャーやレクリエーションの面から支援するとともに、市民の外出機会の創出による地域経済の活性化を図るため、主に夏休み期間中に公共施設の入場料等の無料化の実施に要する経費。

ウ 子ども食堂への地元水産物販売支援事業 1,320万円

子ども食堂における他団体等からの支援が十分ではない食材（水産物）調達を支援するため、子ども食堂に対し、地元水産加工品の購入経費を補助する経費。

エ 商店街プレミアム付商品券発行支援事業 3億5,000万円

物価高騰に対する支援として、福岡県の助成制度を活用して商店街等が自主的に取り組むプレミアム付商品券発行の支援に要する経費。

オ 一般家庭向け省エネ家電普及促進事業 4億7,200万円

家庭における省エネ対策と市民生活の支援を目的として、省エネ型の冷蔵庫・テレビ・エアコンの購入者（一般家庭）に対し、購入費用の一部を商品券として還元する経費。

カ 生活困窮者支援に取り組む団体等支援事業 1,800万円

生活困窮者支援への官民連携・協働を進めるため「北九州市孤独・孤立対策等連携協議会」参画団体の支援状況や課題の洗い出し等を行うほか、コロナ禍等で高まる支援ニーズに対応するNPO法人等への支援に要する経費。

- キ 中小企業融資損失補償** **2億7,540万円**
景気対応資金融資の利用に伴う保証料補てんや令和5年度以降に見込まれる保証料補てん額を基金に積み立てる経費。
- ク 生産性向上のためのDX・デジタル化推進事業** **8,000万円**
市内企業のDXを推進するため、人材育成やDX実践に向けた市内中小企業等への補助に要する経費。
- ケ 事業再構築補助金活用促進事業** **5,000万円**
売上が減少した中小企業等の新分野展開、業態転換等を対象とする国の事業再構築補助金の活用を促進するため、申請企業に対し、補助金申請に係る費用を助成する経費。
- コ 中小企業の省エネを促す緊急経済対策事業** **3億2,000万円**
電気料金を含む物価高騰に直面する市内中小企業に対し、省エネ設備等の導入費用を補助する経費。
- ②検査・医療提供体制の確保、市民への支援等**
- ア 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業** **37億9,800万円**
新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、追加接種（4回目接種）の迅速かつ円滑な推進に要する経費。
- イ 自宅療養者支援事業** **9億7,500万円**
「第6波」による新規感染者数の高止まりに対応するため、自宅療養者に必要となる食料品・日用品等の支援や、パルスオキシメーター等の貸与のほか、医療支援体制を整備する経費。
- ウ 保健所機能強化事業** **2億7,400万円**
「第6波」による新規感染者数が高止まりする中、感染者への対応向上や状況変化に即応できる体制づくりを行うため、保健所業務の外部委託化を促進する経費。
- エ 福祉施設等に対する新型コロナウイルス感染症検査支援事業** **5億円**
「第6波」以降の新規感染者数の高止まりを踏まえ、集団感染リスクのある高齢者施設、障害者施設、保育所、学校等に配布する抗原検査キット購入に要する経費。
- オ 産前産後子育て支援ヘルパー派遣事業** **2,000万円**
新型コロナの感染拡大の長期化等の影響により、家族などから家事や育児の支援が受けられない子育て世帯を支援するため、市がヘルパーを派遣する経費。
- カ 教育用タブレット端末整備（追加整備）** **2,060万円**
（他に債務負担1億1,440万円）
1人1台タブレット端末を活用した学習活動を円滑に実施するため、オンライン配信用端末及び故障等補充端末の整備に要する経費（2,700台）。

(2) 政策経費等	1億7,700万円
ア 商店街等における火災及び自然災害からの再開支援事業	3,840万円
商店街等の被災事業者を支援するため、事業再開に必要な店舗移転経費や賃借料の補助に要する経費。	
イ 119番自動火災通報システム設置事業	500万円
巨過市場における大規模火災の発生を受け、木造市場等の火災予防を図るため、119番自動火災通報システムを追加設置する経費。	
ウ 子ども食堂開設促進事業	250万円
国の「地域子供の未来応援交付金」を活用し、子ども食堂の運営ノウハウを持つNPO団体等を通じて子ども食堂の開設を支援する経費。	
エ コンサート in ミクスタ支援事業	2,300万円
ミクニワールドスタジアム北九州で開催されるコンサート【北九州ロックフェスティバル2022（仮称）】の支援に要する経費。	
オ ごみ収集指定袋制実施事業	9,410万円
世界的な原油価格の高騰や円安による、ごみ袋製造単価の上昇等に対応し、ごみ袋の必要枚数を確保する経費。	
カ 老人保護措置費、軽費老人ホーム・ケアハウス運営補助事業	1,400万円
養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウスにおける介護職員等の給与について、処遇改善に要する経費。	

(3) 公共事業関連（国の内示によるもの等）	10億2,100万円
ア 道路・街路事業等	8億6,870万円
国道3号（黒崎バイパス）及び恒見朽網線ほか5路線（道路改築）、砂津長浜線ほか3路線（街路）の整備のほか、交通安全施設整備や道路維持等に要する経費。	
イ 公園整備事業	2,180万円
桃園公園の庭球場整備に要する経費。	
ウ 小倉北特別支援学校等整備事業	7,350万円
（他に債務負担2億6,800万円）	
小倉北特別支援学校及び北九州中央高等学園を東芝北九州工場跡地に建替えるにあたり、建築工事の実施設計等に要する経費。	
エ 門司港地域複合公共施設整備事業	5,700万円
（他に債務負担2億5,700万円）	
門司港地域複合公共施設の実施設計に要する経費。	

(4) 6月補正予算案の規模と財源内訳（一般会計）

6月補正予算案計上額（一般会計） 91.5億円
（うち新型コロナウイルス感染症に対応する本市の支援策 79.5億円）

【財源内訳】

国県支出金 78.1億円
（うち新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 26億円）
地方債 7.3億円
その他特定財源 0.2億円
一般財源（財源調整用基金の取崩し等） 5.9億円

2 特別会計補正予算案

11億5,800万円

(1) 土地取得特別会計

11億5,800万円

(他に債務負担6億8,700万円)

門司港地域複合公共施設の事業用地の購入・支障物件移設補償に要する経費。